

# JA自己改革ニュース



所得増大編  
No.14  
2020.11.16

三重県

JA三重中央 ベジマルファクトリー生産グループ

生産 コスト



## 加工用野菜の契約買い取りや 出荷資材の見直し等で**所得44%アップ**

JA三重中央（津市（旧久居市・一志町・白山町・美杉村）全域）では、**生産拡大**に向けた加工用野菜の契約買い取りや、**コスト低減**に向けた出荷資材の見直し等、さまざまな取り組みを実践しています。

その結果、10a当たりの所得は、2019年度16.4万円となり、2017年度に比べ5.0万円、**43.5%の増加を実現**しました。

### 【JAの具体的取り組みと成果】

**生産拡大**に向けては、JA三重中央カット野菜工場「ベジマルファクトリー」と農業者が直接契約を結び、加工用キャベツの契約買い取りを行っています。農業者からの買い取り価格は1kg当たり50円(税別。11月、2月～3月出荷分)で、2015年度より3円上乘せされています。

その結果、加工用キャベツの生産面積（キャベツ出荷契約面積）は、2019年度には、35.3haとなり2017年度比で41.2%増加しました。

**コスト低減**に向けては、キャベツ用のコンテナ（鉄・プラ）の貸与に組み、2017年度には100基だったコンテナの保有数を2019年度には210基に増やして生産者のニーズに応えました。

その結果、出荷資材にかかる10a当たりの費用は、段ボール使用時は5.4万円なのに対し、コンテナ使用時は0.4～0.6万円となり約4.8万円～5.0万円、最大92.6%のコスト低減を実現しました。

これらの取り組み等により、2017年度から2019年度にかけて10a当たり**5.0万円、43.5%の所得増大を実現**しました。



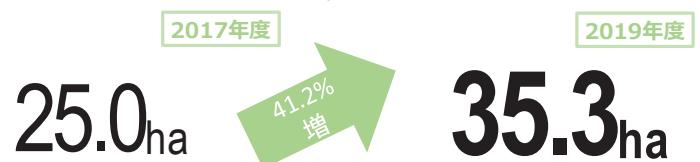
（キャベツ用の鉄コンテナ）



（カット野菜工場の様子）

加工用キャベツの生産面積※

※出荷契約による生産面積



出荷資材にかかる費用※

※10a当たりの費用



10a当たり平均農業所得※

※JA三重県中央会試算、キャベツ生産面積2ha規模を想定



JAグループのホームページから、自己改革の成果をまとめた動画や全国のJAの取り組みがご覧になれます。

<https://org.ja-group.jp/challenge/>

発行/ JA全中（一般社団法人 全国農業協同組合中央会）



JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。